

個人議員研修復命書

①議員道内行政視察

大島憲昭議員・鎌倉和雄議員・佐々木政義議員・多々良勝議員・竹中隆浩議員・佐々木誠議員・水戸部正博議員

※資料については事務局に保管しておりますので、閲覧したい方はご連絡ください。

豊富町議会事務局 0162-73-1755

出張復命書

令和4年10月28日

豊富町議会議長 様

氏名 大島 憲昭

このたび、下記により出張したので、その概要を報告します。

記

用務	議員道内行政視察
用務先	当麻町 当麻町役場 苫小牧市 苫東ファーム(株) 白老町 ウポポイ民族共生象徴空間 白老町役場 当別町 家具工房 旅する木
期間	令和4年10月18日—21日 4日間
用務の概要（会議等の概要） 1日目 18日 当麻町役場新庁舎建設買取事業 ・平成28年公募型プロポーザル方針で（13社）スタート、平成30年落札 ・旧庁舎解体含めての13億円の事業費（外構別）は非常に安価であるが間取、材質等がかなり節約されている、議事堂の多目的使用、買取方式に興味。 2日目 19日 苫東ファーム(株)（周年栽培、いちご流通体制、エネルギー活用、雇用等） ・雪が少なく栽培に適した（日射量）地域であることが成せる技、清水建設主力。木質バイオマス（いちご4ha）のビニールハウスは圧巻！温室のためのエネルギーに課題。 3日目 20日 白老町 ウポポイ民族共生象徴空間視察 白老町役場視察 ・白老町役場 通年議会にについて事務局、議運委員長により議事堂で説明を受け、質問、意見交換する。議員定数問題が通年議会に達する発端。前進した議会のあり方と思うが、行政側、議長の荷重が多いことと感じた。 4日目 21日 当別町廃校舎の利活用（家具工房）視察 以上。	

出張復命書

令和4年10月28日

豊富町議会議長 様

氏名 鎌倉 和雄

このたび、下記により出張したので、その概要を報告します。

記

用務	議員道内行政視察
用務先	当麻町 当麻町役場 苫小牧市 苫東ファーム(株) 白老町 ウポポイ民族共生象徴空間 白老町役場 当別町 家具工房 旅する木
期間	令和4年10月18日—21日 4日間
用務の概要（会議等の概要） <p>1. 当麻町役場(庁舎及び子育て世代包括支援センター)</p> <p>「食育・木育・花育」からつながる「心育」の独自性ある事業推進～水稻・林業が盛んな町で、特にでんすけすいかの産地として知られている。</p> <p>役場庁舎は、老朽化や耐震構造不備なことから、平成28年より町民説明会等を展開し、木造2階建てで町有木材を使用するとともに、多くを地元建築業が主体で建設された。木のぬくもりや温かさが感じられるとともに、部分的には素人が作成したようなイスなど、本町においてもこれから庁舎を建設しなければならない時期に来ており、基本設計などから町議会として参画していくべきと考えます。</p> <p>子育て総合センターは、次世代を担う子供たちに、木の良さやぬくもりを肌で感じて育てほしいから、町内産カラマツ・トドマツなどの木材を約98%使用するなど木材の地産地消により建設され、運営は上川中部福祉事務組合（当麻・比布・愛別・上川）の4町で行われる。</p> <p>次世代を担う子供たちの育成では、本町でも役場庁舎にこども係を設けているが、保育園との連携や健全育成に父母との接することが大事と思うので今後に期待する。</p>	

2. 苫小牧市 苫東ファーム (いちご生産販売)

夏季の冷涼な気候・高度な環境制御技術により、通年にわたる高品質ないちご生産・販売を実現した、4haに及ぶいちごの溶液栽培施設で、太陽光利用型の大型施設で鉄道・主要道路・空港・苫小牧港にも近いなど交通の便が良いところから大都市圏・本州にも出荷しているとのこと、国の補助金と清水建設(株)が運営しており、いちご苗は毎年更新、開花時にはミツバチの受粉、選定従業員は50名とのことであり、特に、溶液栽培には環境制御コンピューターで高度な栽培環境を制御するなど異業種間の連携で事業も近年黒字との報告を受けた。

温室の規模は間口8m、奥行93m、軒高4mが10基で使用する燃料はLPGで平成26年にチップボイラー施設は木材の乾燥度が均等でないため使用してないとのこと、非常に参考になった。

本町における野菜等の生産は、大根・キャベツ・白菜などわずかに生産するもので、子供たちは野菜等はスーパーで菜っていると思っている子供も少なくない。

水稲も生産できない地であるが、高齢化の中で何らかの野菜栽培施設、温泉の放散ガスを利用してはと思われまます。

3. 白老町 (ウポポイ民族共生象徴空間)

国の予算で建設されたウポポイ民族共生象徴空間は、アイヌ民族の歴史を振り返る資料館等として見学してきました。

本町にも樺太アイヌの子孫がいることなどを考えるとき、少数民族の生き方などもう少し知ることが必要と感じました。

4. 白老町役場(通年議会について)

道内で先進的な通年議会の取組は、平成10年より第5次改革と進んでおり改革項目は①議員定数②議員の視察研修の在り方③議員の政策能力④町民に親しまれる議会づくり⑤議会の情報公開⑥議員の倫理などで、移動常任委員会の開催、議員の出前トーク、議会情報の公開、インターネットによる本会議・委員会の会議録公開、一般質問の一问一答方式による議員・町長の質問通告書・答弁書の配布など興味深い事項が挙げられており、首長が1月に招集、12月までの通年会期とすることで足りる仕組みなどからとなっており、又、委員会の夜間開催など町民に議会の内容が把握できる状況は、当町議会としても学ぶことが多くあり、有意義な研修でした。

5. 当別町 (廃校舎の利活用～家具工房旅する木～)

木製車いす、ダイニングキッチン、テーブルの作成などユニークな作業現場を見学し、円上の車いす製作工程など百聞は一見に如かずで、議員研修ならではの行程で、議会事務局の行程づくり、先方への諸準備等に感謝し出張復命書といたします。

出張復命書

令和4年11月7日

豊富町議会議長 様

氏名 佐々木 政義

このたび、下記により出張したので、その概要を報告します。

記

用務	議員道内行政視察
用務先	当麻町 当麻町役場 苫小牧市 苫東ファーム(株) 白老町 ウポポイ民族共生象徴空間 白老町役場 当別町 家具工房 旅する木
期間	令和4年10月18日—21日 4日間
用務の概要（会議等の概要） <ul style="list-style-type: none">10月18日 当麻町役場視察（役場新庁舎買取事業・子育て支援策について）10月19日 苫東ファーム視察(周年栽培技術・生産物の流通体制・地域資源エネルギーの活用・地域経済の活性化と雇用の創出)10月20日 ウポポイ民族共生象徴空間視察・白老町役場視察（通年議会について）10月21日 当別町・家具工房旅する木視察（廃校舎の利活用について） <p>今回の視察日程は3泊4日ということで、移動・視察研修などの時間の余裕もあり充実した研修となった。当麻町役場新庁舎では、100%町産材を使用し、議事堂内を会議室など多目的利用できるなど工夫されていて、今後豊富町でも新庁舎建設予定されることから、参考となる部分も多く感じた。</p>	

出張復命書

令和4年11月11日

豊富町議会議長 様

氏名 多々良 勝

このたび、下記により出張したので、その概要を報告します。

記

用務	議員道内行政視察
用務先	当麻町 当麻町役場 苫小牧市 苫東ファーム(株) 白老町 ウポポイ民族共生象徴空間 白老町役場 当別町 家具工房 旅する木
期間	令和4年10月18日—21日 4日間
用務の概要（会議等の概要） 白老町役場視察→通年議会について 平成20年6月1日から施行 ・通年議会制による議会活性化 ・監視機能から政策議会へ ・議会広聴の充実 ・通年議会制のメリットなど	

出張復命書

令和4年11月11日

豊富町議会議長 様

氏名 竹中 隆浩

このたび、下記により出張したので、その概要を報告します。

記

用務	議員道内行政視察
用務先	当麻町 当麻町役場 苫小牧市 苫東ファーム(株) 白老町 ウポポイ民族共生象徴空間 白老町役場 当別町 家具工房 旅する木
期間	令和4年10月18日—21日 4日間
用務の概要（会議等の概要） 10月18日 ・当麻町役場庁舎訪問 役場新庁舎建設買取事業で、当麻町産材 100%使用した木造でワンフロア化し、質の高い行政サービスが受けられ議事堂も多目的利用できるようになっています。 暖房燃料を町産チップを用いてバイオマス燃料として活用し、林業は農業に次ぐ産業で地元の木材を低コストで有効利用できていると思います。 ・当麻町子育て支援総合センター訪問 子育て総合センターは当麻町の母子保健活動と児童等に対する必要な支援及び幼稚園と、当麻町、比布町、愛別町、上川町の4町で構成されている、上川中部福祉事務組合が同じ建物内にあります。 関係機関が情報を共有し連携して対応できるようになっており、近隣市町村と協力出来たら人手不足や問題の解決がスムーズになると思います。	

10月19日

・苫東ファーム視察

苫東ファームは、苫小牧東部工業団地内で清水建設をはじめとする民間企業6社が出資する1年中いちごの生産・販売をする施設です。

苫小牧地域は、日射量が北海道の中でも多く、冬期間の積雪量が少なく、夏期は25%を超えることは珍しく、施設は南北93m 東西224m で日射量、気温、湿度、CO₂濃度等、複合環境制御システムで管理されています。

苫小牧市は北海道の物流の拠点で、生産されたいちごは北海道、関東エリアの洋菓子店やホテル、スーパーに販売されています。培地加温や屋根融雪に使用する木質チップボイラーのチップ乾燥不足と温風機で使用するLPGガスの使用料金、パートタイムの人材不足で、豊富町は天然ガス利用でコストダウンができますが、人材不足は共通な課題だと思います。

10月20日

・ウポポイ民族共生象徴空間視察

国立アイヌ民族博物館を見学して、アイヌ民族の歴史とアイヌ文化について学びました。

体験ホールでは伝統的な歌と踊りや楽器演奏を見て、先住民族であるアイヌを未来へ伝承していく必要があると思います。

・白老町役場訪問

白老町議会運営委員会 小西委員長、本間事務局長より通年議会について説明を受けました。

開かれた議会・信頼される議会をテーマに第1次～第5次議会改革の歩みを聞き、通年議会である閉会中の期間を無くして、全て公式の会議となり臨時会の必要がなくなる。

災害時の緊急対応や突発的な行政課題に議会を開けること等のメリットや広報広聴常任委員会の活動について説明を受けました。

通年議会は、会議の日数が多くなるデメリットもありますが、定例会の会期中であることから何時でも委員会が開催でき、議案の受理が随時可能となることが良いと思います。

10月21日

・当別町家具工房視察

2008年に廃校となった当別町立東裏小学校を利用した、家具工房 旅する木を訪問しました。

教室をショールームとして活用したキッチンやソファや車いすの展示を見て仕上げはカンナによる手作業と木を曲げて車輪を作っている説明を受けました。

体育館では作業場があり、作業を拝見しました。

豊富町も使用されていない校舎が稚内と庄内にありますが、企業誘致や有効活用など検

討する必要があると思います。

出張復命書

令和4年11月11日

豊富町議会議長 様

氏名 佐々木 誠

このたび、下記により出張したので、その概要を報告します。

記

用務	議員道内行政視察
用務先	当麻町 当麻町役場 苫小牧市 苫東ファーム(株) 白老町 ウポポイ民族共生象徴空間 白老町役場 当別町 家具工房 旅する木
期間	令和4年10月18日—21日 4日間
用務の概要（会議等の概要） <p>○10月18日 当麻町役場視察 平成30年完成 当麻町産材100%使用新木造再来軸組工法採用 延床面積 2,677㎡ 総工費 1,323百万円（旧庁舎解体外構工事含む） 工事費支払方式 買取方式 地場産のカラマツ材を100%使用することで、町内の林業振興と町内の建設業の育成にも寄与している。また、議事堂を多目的に使用できるように工夫し、町内全体のスペースを有効利用している。これは、本町においても新庁舎を計画するときは採用すべきだと思う。 執務室全体に4寸角の柱が3、4mおきに立っており、木の温かみを感じる作りになっているが、事務所のレイアウトを考えるとちょっと問題がありそうと思った。</p> <p>○10月19日 苫東ファーム株式会社視察 100m×200mのハウス2棟でいちご栽培をメインに生産しており、この地域はいちご栽培に向けた日射条件、栽培に適した気候、物流に適した立地など条件が整っている。 いちご栽培には夏場でも25℃を超えないことが必要だと聞きました。2棟のハウスの1棟</p>	

は冬場出荷用のいちごを生産、もう1棟は夏場出荷用のいちごを生産している。夏場生産には温度を上げないよう換気等に気を使い、冬場は暖房の為にLPガスを使っており暖房費の高騰が経営の負担になっている。

本町でいちご栽培をやろうとすると、温泉の余剰ガスを使って暖房費を抑えることはできるが、栽培管理にパート職員が多数必要で、その人員確保が難しいのと販路確保がネックになると思われます。

○10月20日午前

ウポポイ民族共生象徴空間視察

アイヌ民族の歴史を壮大なスケールの施設で展示しており、北海道の先住民としてのアイヌとカラフトから移住したアイヌ民族の違いを見ることができた。

○10月20日午後

白老町議会通年議会制度について

議会改革の一環として議員定数の削減、議員の政策能力向上、議会の情報公開、議員の倫理について協議を重ねた結果、「通年議会」による議会の活動能力の確保を目指した。

白老町議会は「閉会中の期間」を無くし、議会が主導的・機動的に活動できる制度によりチェック機能の充実強化を図り、災害時の緊急対応や突発的な行政課題に議会が開けることが重要。議会は通常首長が招集するが、通年議会の場合、議長が招集する。

○10月21日

当別町 家具工房旅する木 視察

こちらでは、廃校校舎を利用して、様々な家具、車いすなどを製作し販売している。中でも木で作ったキッチンカウンターは耐水性を持たすため、天板を仕上げるのに通常サンドペーパーで仕上げると表面に細かな傷ができて水が染み込むそうで、それで従来工法のカンナ仕上げにすることで、表面に撥水機能を持たせているそうです。また、木製の車いすは車輪の作りが見事で曲線が美しい作りでした。

出張復命書

令和4年11月11日

豊富町議会議長 様

氏名 水戸部 正博

このたび、下記により出張したので、その概要を報告します。

記

用務	議員道内行政視察
用務先	当麻町 当麻町役場 苫小牧市 苫東ファーム(株) 白老町 ウポポイ民族共生象徴空間 白老町役場 当別町 家具工房 旅する木
期間	令和4年10月18日—21日 4日間
用務の概要（会議等の概要） ①当麻町 ・当麻町役場 3階建て庁舎から、現、木造庁舎に立替をしたときに、延床面積はやや減少したとのことでした。しかし、議会室が多目的に使えるよう、可変式になっているので、良いアイデアと思います。 苫東でも問題になっていたチップの乾燥にボイラーの熱を利用しているところも優れていました。 ・子育て支援 幼保一元型の継ぎ接ぎに見えました。ただ、近隣町村と協力して延長保育を行っている点は経費削減になっているだろうと思う。 ②苫東ファーム 規模の大きさにはびっくりしました。ただ、乾燥が難しく木質チップを今は利用していないとのことで、少しがっかりです。	

現地でも質問しましたが、発足当初は赤字体質から経営母体を変えて一気に黒字化になった要因は、はっきりとは答えてもらっていないと思いますが、専門知識と熱意だと思います。

③ウポポイ民族共生象徴空間

施設の近代的な設備と展示品の多様さや、広々とした敷地には感心しましたが、お土産品は従来の菓子類にパッケージを変えただけのものが多く、独自の物がもっとあれば良いと感じました。また、最近はアイヌ文化に関心が増えてきました。ただ、リピーターになりうるかは、疑問だ。

④白老町通年議会

発案者（議長）の熱意は感じましたが、明確なメリットは感じられませんでした。

しかし、議会改革の一端と解釈しました。広報活動については、こちらの方が進んでいるのではないかと思います。

⑤家具工房「旅する木」廃校舎の利活用

大都市圏内だと、新規企業者が利用しやすい条件だと思います。

道外のお客さんがほとんどという事で、高収入者を対象とした企業という印象でした。強いこだわりで良い物を作っているとは思いますが。